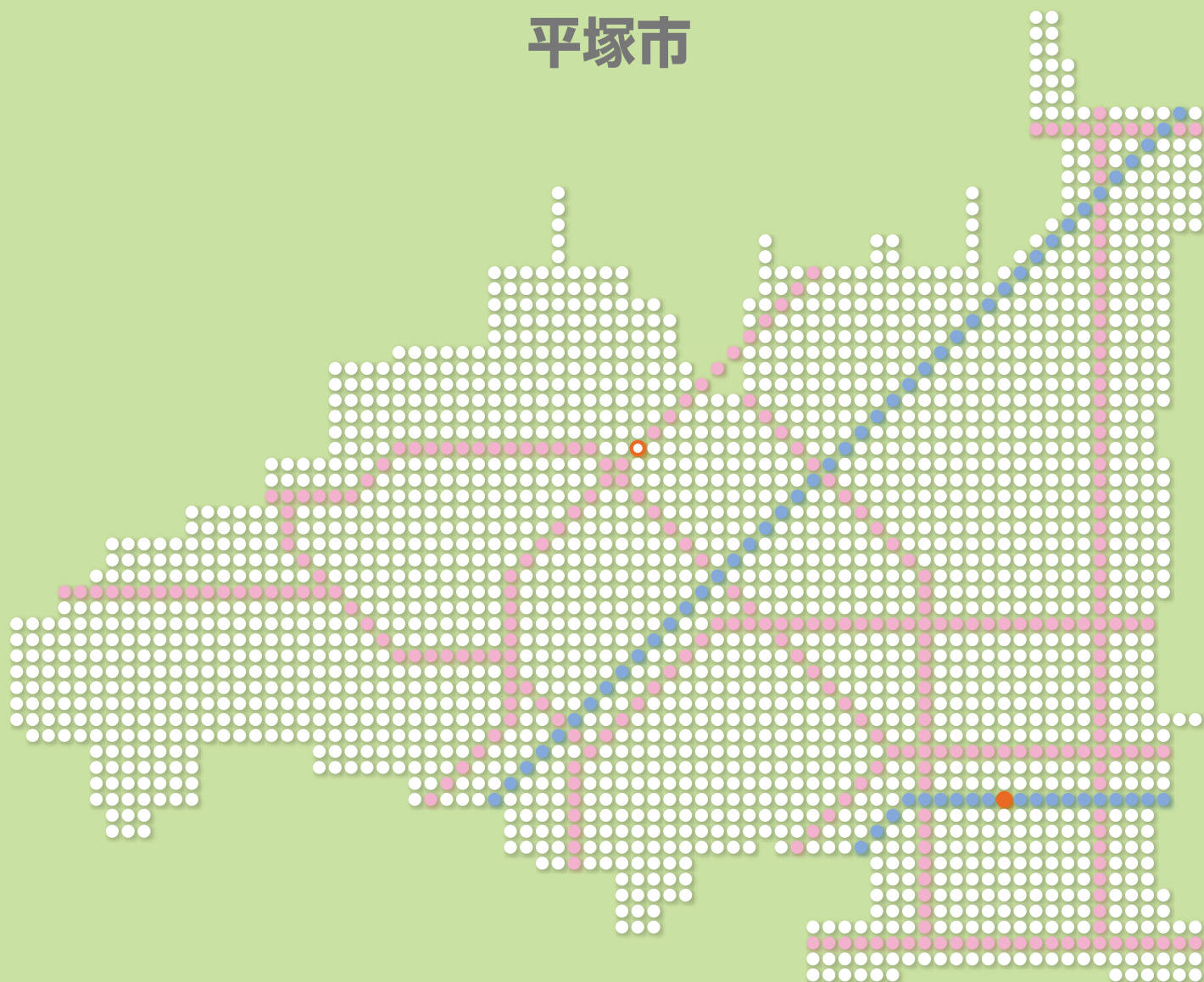


平塚市総合交通計画



2010
平塚市



公共交通と自転車を中心とした 人と環境にやさしいまちづくりに向けて

平塚市は、戦災の復興を基に道路基盤が築かれ、唯一の鉄道駅であるＪＲ東海道線平塚駅を交通の拠点として、道路網や路線バス網が形成されています。また、市域の大部分が平坦な地形であることから、通勤や通学、レクリエーションなどの移動手段として、多くの市民が自転車を利用しております。

そのような中で、社会経済を取り巻く環境は大きく変化し、高齢社会への対応、中心市街地の活性化、環境負荷の低減をはじめ、交通混雑の解消や路線バスの利便性向上、さらにさがみ縦貫道路等の広域交通への対応など、交通機能に関する課題も多岐にわたり生じています。

このような都市の特性や交通課題を踏まえ、本市が２１世紀に持続可能な都市として、魅力高め、活力を持続していくためには、まちづくりの骨格をなす総合的な交通政策を早急に定める必要がありました。

平成２０年に策定した本市まちづくりの根幹となる平塚市都市マスタープラン（第２次）の中で、本市の目指すべき将来都市像を「豊かな自然につつまれて 人とまちが織りなす 湘南のサステナブルシティ」と掲げています。このプランを基に、平塚市総合交通計画では、これまでの交通体系から方向転換を図り、「公共交通と自転車を中心とした人と環境にやさしいまちづくり」を基本理念として、様々な交通施策を戦略的、一体的に進めてまいります。

平塚市総合交通計画を着実に実現し、より効果的、効率的な交通施策の展開を図るためには、市民、交通事業者、行政がそれぞれの役割を担い、また、これまで以上に連携を強め、協働して取り組んでいく必要がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心にご議論いただきました検討会議の委員の皆様をはじめアンケート調査やパブリックコメントなどを通じて貴重なご意見をお寄せいただきました多くの皆様に心からお礼申し上げます。

平成 22 年（2010 年）4 月

平塚市長 大藏 律子



目次

序章●総合交通計画策定の趣旨 1

1. 総合交通計画とは 1
2. 計画の位置づけ 1
3. 計画の目標年次 3
4. 将来人口フレーム 3
5. 将来交通量の見通し 3
6. 計画策定に際して配慮すべき視点 3
7. 計画の構成 6

第Ⅰ章●交通の現状 7

1. 交通手段別の現状 7
2. 道路の利用状況と整備状況 12
3. 中心市街地の交通の現状 14
4. 高齢者の交通手段の現状 15
5. 交通安全に関して 16

第Ⅱ章●交通課題の設定 17

1. いま起きている交通問題への対応 18
2. 将来のまちづくりを支える交通基盤整備 23
3. 高齢社会への対応（高齢者等が安心して外出できる交通環境の整備） 24
4. 環境負荷の低減（温室効果ガスの排出量の削減） 26
5. 中心市街地の活性化 29

第Ⅲ章●基本理念と将来交通体系 31

1. 基本理念 32
2. 将来交通体系 33
3. これからの交通計画の進め方 37

第Ⅳ章●交通ネットワークの配置方針及び都市計画道路の見直し方針 38

1. 交通ネットワークの配置方針 39
 - 1- 1. 幹線道路ネットワークの配置方針 39
 - 1- 2. 公共交通ネットワークの配置方針 42
 - 1- 3. 自転車ネットワークの配置方針 50
 - 1- 4. 歩行者ネットワークの配置方針 58
2. 都市計画道路の見直し方針 61

第Ⅴ章●将来交通体系の構築に向けた取組み方策 73

1. 道路等整備 74
2. 公共交通 79
3. 自転車等 88
4. 歩行空間 92
5. 自動車等 93

第Ⅵ章●交通戦略プラン 97

1. 交通戦略プランの設定方針 98
2. 全市的な交通戦略プラン 100
3. 平塚駅周辺地区の交通戦略プラン 112

第Ⅶ章●実現に向けて 122

1. 市民・交通事業者・行政の役割 123
2. 総合交通計画の推進 124

資料編 126

用語解説 131

■方針内容の文章表現（語尾の記述）について

「めざします」：目標や方向性に向けて、取組む場合につかいます。

「進めます」：取組みを優先的に推進する場合につかいます。

注：「○○を進めます」とするよりも、「○○します」の方が自然な場合や、その用語自体が意味を持つ場合には「○○します」と表現しますが、内容としては「○○を進めます」に該当します。

「努めます」：目標達成に時間がかかるが、継続して取組む場合につかいます。

「検討します」：取組みを進めるため、今後内容を検討する場合につかいます。

■用語

本計画の中で、「※」がついている用語は、巻末の「用語解説」で取り上げていますので、ご参照ください。なお、1つのページ内で用語を複数回用いている場合は、最初に記載している用語のみに「※」をつけています。

「＊」がついている用語は、数字の根拠などを文中の巻末に示しています。